

# ■ 指定管理者制度導入施設 中間評価シート ■

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立緑第一障害者地域活動支援センター
指定管理者名	特定非営利活動法人湘北福祉会やまのべ
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市立緑第一障害者地域活動支援センター条例
施設の設置目的	障害者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談支援を行い、創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を行い、もって障害者の福祉の増進に寄与する。
施設概要	開館時間:午前9時30分から午後6時まで 休館日:日曜日及び12月29日から翌年の1月3日まで 年間開所日数:302日 施設延床面積:312.78㎡ 主な施設:1階 フリースペース、作業スペース、相談室、静養室、台所、ダイニング、浴室、脱衣室、事務室等 2階 管理スペース(和室)
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

## 2 管理実績

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	3,758	2,784	3,151		
利用料金合計(円)	570,408	226,190	513,425		
収入総額(円)	29,189,522	31,518,245	36,015,541		
支出総額(円)	25,689,799	24,903,365	28,169,393		

## 3 成果指標の達成度

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	<b>S</b>	<b>B</b>	<b>B</b>				<b>13</b>

指標	
指標名(単位)	利用者総数 単位:人
指標式と指標の説明	施設に通所し日中活動等への参加や、障害者の不安を解消する総合相談事業の利用により、障害者の地域における自立した日常生活や社会生活の促進が図られるため、利用者総数(年間延べ通所者数+総合相談延べ人数)を成果指標とする。

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	5,000	5,100	5,200	5,300	5,400
実績値(人)	5,800	4,727	4,884		
達成度(%)	116.0%	92.7%	93.9%		

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 <b>15</b>
	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>				

#### 市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
相談支援事業(基本相談支援)	電話相談、面接相談、メール、同行・訪問、ケース連携	幅広い相談ニーズに応えることで、利用者とその家族が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていく道筋を得るとともに、生活環境を整え、必要な情報の提供や、福祉サービス等につなげることができた。
相談支援事業(家族相談支援)	電話相談、面接相談等	新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅で過ごすことが増えたことで、家族間での関わりが密になり、相談員が間に介入することが増えた。
相談支援事業(計画相談支援)	サービス利用支援及び継続サービス利用支援 【指定相談支援(計画相談、地域移行、地域定着)】	抱えている課題を解決し、適切なサービスにつなげることで、自立した日常生活の構築や地域での安定した生活など、利用者の生活の質を高めることができた。
相談支援事業(地域相談支援)	地域移行支援及び地域定着	安定した地域生活のため連絡体制の充実や医療機関、障害者支援施設等への適切な移行を行うことで、地域生活の維持・安定につなげることができた。
相談支援事業(訪問等相談支援)	訪問・同行支援	新型コロナウイルス感染症の影響で訪問を中止することが増えたが、電話やメールでのモニタリングに変更し、随時対応している。
地域活動支援事業(生活支援事業)	○食事提供、プログラム活動等 ○生産活動 請負作業、自主製品の製作販売	昼食提供を週6日実施したことで、土曜日に利用する方が定着した。また、同法人の就労B型事業所への体験作業として参加することで就労支援にも繋げることができた。
地域活動支援事業(情報提供事業)	緑センターやまのべだよりの発行 月1回 ホームページでの情報提供 随時 関係機関からの催事、講演会等の情報揭示 随時	月に1回やまのべだよりを発行。ホームページにてレク等の情報の発信をすることで、地域の方や緑区外の当事者の方にセンターの活動を知ってもらう機会を増やした。
地域活動支援事業(就労支援事業)	利用者の希望に応じた就労移行に関する必要な支援 ○就労相談 施設外就労(ワークやまのべ)へ向けての支援 ○障害者雇用 清掃スタッフ、調理スタッフ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 令和3年度は清掃スタッフのみ中止	令和元年度より生産活動から就労B型事業所「ワークやまのべ」へ移行する方への支援を実施。9割の方がワークやまのべへ移行。今後は、生産活動を就労B型への移行準備体験の場としても提供をしていく。

地域活動支援事業(ピアサポート)	新型コロナウイルス感染症の影響により休止 (ピアサポート養成研修、ピア活動、ピアセッション)	ピアサポート研修等の実施はしていないが、ピアサポーター研修を受けた利用者が悩みを聞く等、利用者間でのピアセッションが行われている様子が伺えた。
地域活動支援事業(交流できる場の提供)	フリースペース利用フリースペース 令和3年度延べ参加人数 2,784名 管理スペースの活用 新型コロナウイルス感染症の影響により休止 (家族会、自治会の定例会の会場として提供)	フリースペースの提供により、地域交流の場や居場所作りなど地域交流が深まり、社会参加につなげることができた。

## 5 利用者の満足度

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 <b>10</b>
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>				

### 利用者満足度調査

調査手法	各年度末の登録者へアンケートを配布(郵便及び手渡し)
目標値の基準	「全体を通して、当センターに満足していますか?」の問いに対する5段階評価のうち「大いに満足している」「満足している」「どちらともいえない」と回答した方の割合の合計

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	92.3	92.9	93.5		
実績値 (%)	92.1	92.1	89.7		
達成度 (%)	99.8%	99.1%	95.9%	#DIV/0!	#DIV/0!

### 利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
施設運営会議	地域の関係機関からの意見を幅広く聴取する場として運営協議会を開催。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
利用者ミーティング	月1回開かれる利用者とのミーティングで運営内容や施設側の対応に関する課題も取り上げている。
意見箱	随時面談にて利用者の意見、要望を聴取するが補完として意見箱を常設している。

### 利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
(なし)	

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 <b>20</b>
	<b>S</b>	<b>S</b>	<b>S</b>				

### 施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	28,257	28,009	29,401		
指定管理料	25,581	25,332	25,565		
利用料金収入	570	226	513		
生産活動収入	661	606	721		
その他の収入	1,445	1,845	2,602		
支出 (b)	25,690	24,903	28,103		
人件費	19,297	18,776	21,013		
本社管理経費	5,688	5,457	6,168		
生産活動支出	705	670	922		
その他の支出	0	0	0		
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	2,567	3,106	1,298		
自主事業収入 (d)	自主事業なし				
自主事業支出 (e)	自主事業なし				
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	0	0	0		
全体収支 【(c)+(f)】	2,567	3,106	1,298		
備考					

## 7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
危機管理	改善済	改善済	適正に実施		
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報セキュリティ	改善済	改善済	適正に実施		
情報公開・個人情報保護	改善済	改善済	適正に実施		
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
加点の有無	無	無	無		
主な加点内容					

## 8 提案事項のうち未実施のこと

主な事項	内容等	理由・今後の実施見込等
(なし)		

## 9 提案事項にないが実施したこと

主な事項	内容等	効果等
(なし)		

## 10 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルス感染症の影響で各事業の実施や従来の支援が難しい状況ではあったが、生産活動や昼食提供、また相談事業ではSNSの活用など、その状況に合わせた支援を提供することができた。  
また、今後に向けてイベント等の規模を縮小しての実施や自治会の協力のもと地域交流事業の実施を予定している。

## 11 所管課意見

新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問相談支援や地域交流事業等を停止しているが、感染症拡大防止対策や電話、メール等の活用による相談支援など、利用者の不安を取り除く支援を工夫している点を評価する。  
地域住民との交流や近隣の事業所との連携等を通じて、利用者が地域と繋がる支援を積極的に行っており、高く評価できる。

また、満足度調査のほか、日常的に施設利用者と直接対話する機会を多く設けており、ニーズに合わせた施設運営や事業実施等を意識して行っている点を評価する。

今後の指定期間についても、社会情勢に合わせた施設運営や安全確保に努めながら、引き続き利用者のニーズに応えられるように努めていただきたい。

## 12 選考委員会意見

### 【評価した点】

新型コロナウイルス感染症の影響で、通所する利用者が減少しているが、電話やメール等による相談のほか、感染拡大防止に配慮した対応等工夫した支援を行っている。また、コロナ禍で地域交流事業等は中止となったが、これまで培ってきた地域との交流、連携、地域の福祉力を活かし、利用者の社会参加及び障害への理解促進に貢献している。

### 【今後期待する点等】

施設の立地から交通利便性等に課題はあるが、地域の障害者にとって重要な施設となっているため、通所が困難な利用者に対する支援等についても、引き続き電話やメールでの相談に取り組むこと。

利用者のニーズに沿ったきめ細やかな支援と、利用者が安全・安心に利用できるような施設運営を行うこと。

